

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: グリーンアリーナ神戸 Eコート

試合区分: No. 313 少年男子 準決勝

期 日: 2006(H18)年10月3日(火)

主審: 宇田川 貴生

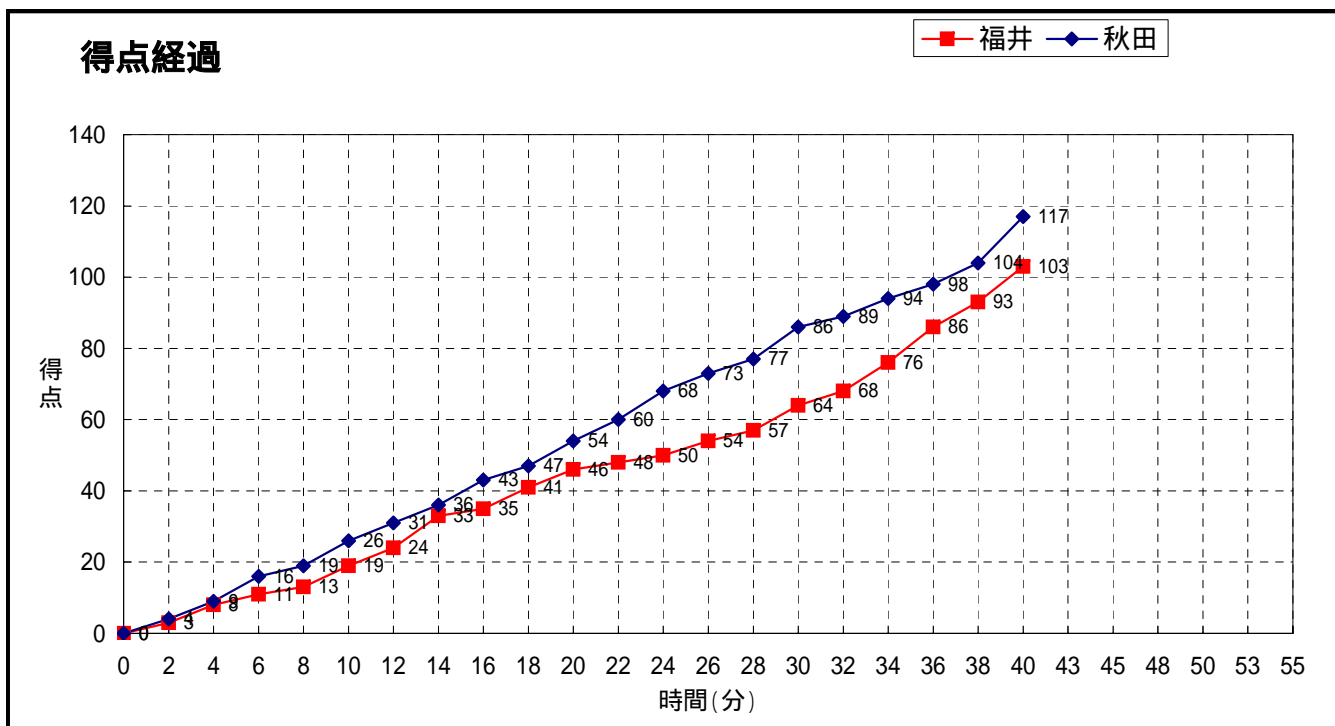
開始時間: 13:30

副審: 加藤 昌樹

終了時間: 14:50

秋田						福井									
117						103									
(東北)						(北信越)									
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	下山 竜良	29	5	7	0	5	4		八木 昌幸	6	2	0	0	1
5	*	満原 優樹	13	0	5	3	3	5	*	井手 勇次	22	5	2	3	5
6	*	長谷川 技	24	1	7	7	1	6	*	馬 隆	25	1	10	2	3
7	*	渡部 敬祐	14	3	1	3	2	7		李 天宇	-	-	-	-	-
8	*	西山 達哉	27	3	8	2	3	8	*	多嶋 朝飛	17	3	3	2	3
9		高橋 健太郎	0	0	0	0	0	9	*	篠山 竜青	24	4	6	0	4
10		遠藤 悠亮	-	-	-	-	-	10	*	永手 ワシントン	9	0	3	3	3
11		石川 朝	-	-	-	-	-	11		松本 陽準	0	0	0	0	1
12		宮川 光	10	0	4	2	2	12		佐々木 陽	-	-	-	-	-
13		高橋 陽	-	-	-	-	-	13		吉岡 良太	-	-	-	-	-
14		館山 健太	-	-	-	-	-	14		佐藤 雄太郎	-	-	-	-	-
15		熊谷 健	-	-	-	-	-	15		赤石 健介	-	-	-	-	-
コーチ		加藤 三彦						コーチ		津田 洋道					
合計			117	12	32	17	16	合計			103	15	24	10	20

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル



ゲームレポート

第1ピリオド、福井はマンツーマン、秋田はハーフコート3-2ゾーンで試合開始。福井は秋田のゾーンに対して、#6馬のポストプレー、#5井手の3Pシュートで崩そうとするが、リバウンドを秋田にひろわれ、逆に秋田の早い展開からの#4下山の3Pシュート、#6長谷川のシュートなどを決められ、秋田7点リードで第1ピリオド終了。
 第2ピリオド、福井は、#6馬のポストプレー、#8多嶋のジャンプシュートなどで攻撃のリズムをつかみ、詰め寄るが、秋田は#4下山、#8西山の3Pシュートで対抗し、点差をなかなか縮めさせない。その後お互いシュートが良く決まり出し、一進一退の攻防が続く、秋田が54-46と8点リードして前半を終了。
 第3ピリオド、秋田が#4下山の3連続ジャンプシュートなどで、3分間で連続10得点を奪う。福井はたまたまずタイムアウト。しかし流れを変えられず、逆に秋田#8西山のドライブインシュートなどで加点される。福井は#9篠山のドライブインシュート、#6馬のゴール下シュートなどで何とかリズムをつかもうとするが、秋田が早い展開からの1on1で着実に点を重ね、一気に突き放し、86-64と秋田22点リードで第3ピリオド終了。
 第4ピリオド、福井#9篠山のシュートで幕が開く。リズムを変えたい福井はオールコートで積極的にピンチプレーを仕掛けるが、秋田は冷静にボールを運び、アウトナンバープレーで点を重ねていく。残り6分福井タイムアウトの直後、福井#6馬と#8多嶋が連続得点をあげる。残り5分秋田#4下山が5ファウルで退場。それをきっかけに、オールコートプレスが功を奏し、福井#9篠山、#5井手のシュートなどで一気に10点差まで詰め寄せた。ここで秋田がたまたまずタイムアウト。福井は必死のルーズボールから#8多嶋の3連続3Pシュートで追いつがる。その後お互いに、3Pシュートの応酬があったが、結局117-103で秋田が逃げ切った。

担当者: 中村 征士(兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会